

第291回 番組審議会

1. 日 時 令和2年 4月14日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F 「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 7名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)
近藤 一英 (副委員長)

—以下50音順—

朝岡 正貴
石田 征広
佐々木 泰司
平野 順子
八木橋 伸之

○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)
小原 忍 (取締役副社長)
高嶋 昇 (常務取締役)
一戸 俊行 (取締役報道制作局長)
君澤 温 (取締役総務局長)
近谷 利政 (報道制作局報道部)

○ 事務局 大場 薫

4. 議題 『mit Live News』

令和2年3月11日（水）18：14～19：00放送

5. 議事概要

今回は、『mit Live News』について審議しました。議事の概要は以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ報道部 近谷利政部長からの説明

- ・新型コロナウイルスの影響で例年通りの追悼式にならなかったこともあり、様々な点に注意し取材にあたった。
- ・根浜海岸の復興の明かりについてはMCをつけずに生の映像のみで伝えました。
- ・震災企画については、当日以外にも3月2日から10回シリーズでさまざまなテーマを掘り起こしました。テーマの中には、陸前高田市の空き地問題や、水産業の現状、さらに内陸避難者の苦悩など、それぞれをテーマにして放送しました。

●出席した委員からの意見

- ・震災遺構のあり方、防潮堤工事の進捗状況の報告など継続した取材が必要だと改めて感じた。
- ・復興の進捗状況のデータ説明はイメージでしかとらえてなかった部分が浮き彫りになり現状を知ることができた。
- ・コロナウイルスで様々な影響がある中、丁寧に細部まで取材していてよかった。
- ・関連死、震災遺構について概要しかわかっていない人もいると思う。そうした事項についてももう少しわかりやすい説明があるとよかった

●委員からの質問、意見に対する会社側からの回答

- ・構成についてのご意見について、報道部内で共有させていただきます。

・普段中継に出ないキャスターが被災地に足を運ぶというところを、現地の人たちにも見てほしいなという意図で、今回中継に出しました。

・引き続き信頼感も高めていけるよう努力します。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※令和2年4月15日（水） 産経新聞 東北版

※令和2年4月25日（土）午前4時42分から4時45分まで「めんこいテレビ番審リポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付、各支社に備置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

9. その他の参考事項

特になし

※次回は、令和2年5月12日（火）12時より3階「星雲東の間」にて開催予定です。